

わがまちを、ふるさとを守るため、消防団に入団しましょう!!

消防団入団に関するお問い合わせは、お住まい地域の市役所、町村役場、または消防本部まで

わがまちの消防団
(臨時発行号)



東日本大震災では消防団の活動が多く命を救いました



京丹後市消防団 団長 羽賀 義昌さん



舞鶴市南消防団 団長 小山 勝巳さん

東日本大震災での消防団活動を知る

今後の大災害に備えるため、また被災地支援の道を探るため、舞鶴市南消防団・小山団長と京丹後市消防団・羽賀団長が、福島県をおとすれました。



いわき市沿岸の被災地の様子

火災と津波…破壊による深い傷跡

被災現場、特に津波の被害を受けた沿岸部の再建は長い道のりです。

地震で建物をもろくなったところへ津波が押し寄せたため、全壊の家が多く、外見に被害のない建物も、実は中は全く住めない状況です。

沿岸部から少し離れたと、自宅を整理する被災者の方を時折見かけ、修繕工事にとりかかっている家もありましたが、まだごく一部です。本格的な再建が急がれます。

富岡町消防団 安藤団長にお聞きしました

逃げ惑う避難者、地元消防団が救った

災害発生後、富岡町民はまず隣接する川内村へ集団移動をはじめましたが、夜道と道路規制などの事情で、他の市町村へ向かった町民もあり、役場職員と消防団員で探しに出ました。

避難移動は、ふるさとを後にするつらいものでしたが、団員達は町民を守るようにポンプ車で随伴しました。町民は団員の活動服に気づいて、団員の存在に安堵している様子でした。

避難所での生活、避難者でもある消防団の今

富岡町は、原発事故により、現在全町民が避難を余儀なくされています。われわれ富岡町消防団は郡山市の避難所となった施設に詰所を設け、そこでの生活に入りました。

避難所生活初期は夜回り等を頻繁に行いました。避難所内に消防団の詰所があるのは心強いと、皆さんから言われます。今、町民の避難先、仮設の場所は分かれています。それぞれの場所で団員が活躍しています。



富岡町消防団 団長 安藤 治さん

須賀川市消防団 佐藤団長にお聞きしました

震災後、直ちに消防団員が集合した

3月11日(金)、大きな揺れの後、多くの消防団員がすぐに集結し、警ら広報活動を開始。この迅速な対応のおかげで、多くの市民が救われたのではないかと思います。

当日、警ら広報に出動した団員は576人で、捜索にあたった消防署員の46人、警察署員の18人に比べ、格段に多い要員力です。やはり地元で密着した消防団員の力は、こういう時に発揮されるのだと再確認しました。

消防団員が足りない、企業の協力も必要

震災対応にある程度の目途がつき、須賀川市消防団は通常の体制に戻りつつあります。しかし、必要とする団員数を確保できていません。

勤務先企業の協力が得られなければ、消防団を退団する、もしくは企業がリストラを行うなどの事例もあり、市長をはじめ私たち消防団幹部で何社もの企業に足を運び、消防団活動に協力してもらえようをお願いをしています。

今後の消防団活動のためには、企業の理解と協力は必ず必要になると考えています。



日本消防協会主催 東日本大震災全国消防団報告研修会から

(7/30・31の報告会から一部抜粋)

宮古市消防団
リアス式海岸河口の巨大水門が、地震のため閉鎖作動不能に。団員は手動操作し危機一髪閉門。最悪の事態に備える訓練の重要性を痛感した。

名取市消防団
平坦な海岸線を津波が直撃。避難誘導などで団員が殉職。消防施設や車輜も流出。団員は、足場が悪い中、捜索活動を何日も行った。

山田町消防団
団員は水門閉鎖にむかっていたが、水門を大きく越えた津波により街は破壊。火災が発生し、がれきりにうまった市街地で、団員は防火水槽を直ちに探し当て、消火にあたった。

南相馬市消防団
甚大な被害を受けたが、被災地域で消防団員を含む「まちづくり委員会」が立ち上がり、地域から復旧復興活動がはじまった。

気仙沼市消防団
未曾有の大津波と大火。水利の確保など消火活動は困難を極めた。団員は自ら被災しながらも、自衛隊や警察と合同で救助や捜索を続けた。

